＝ Match Report ＝

平成30年度 栃木県高校総体兼第61回 関東高等学校サッカー大会県予選会 **決勝**

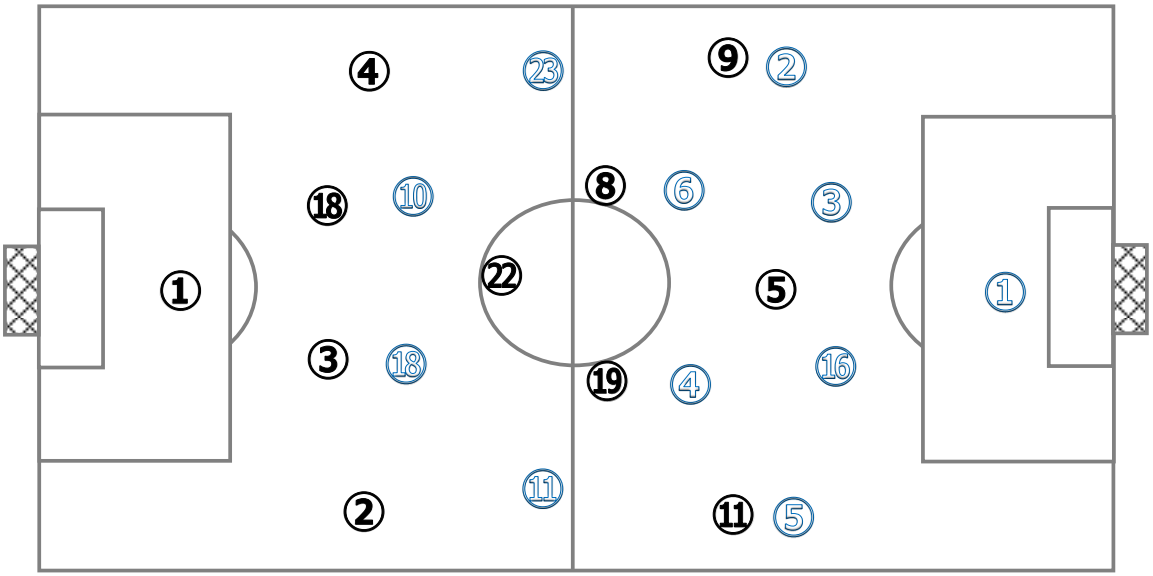
2018 年 5 月 13 日 (日) 13:01 kick off 会場(真岡市総合運動公園陸上競技場)

宇都宮短期大学附属高校 vs 佐野日大高校

宇都宮短期大学附属高校		佐野日大高校
1	1 - 0	0
	0 - 0	
	-	
	-	
	PK	

宇都宮短期大学附属
基本システム 1 － 4 － 5 － 1

佐野日大
基本システム 1 － 4 － 4 － 2



【Match Report】

連戦となった決勝戦。昨日2大会連続関東大会出場を決め、今大会初優勝を目指す宇短大附属と4年ぶり8度目の優勝を狙う佐野日大、実力校同士の好カードとなった。宇短附1－4－1－4－1、佐日大1－4－4－2システムでスタート。序盤、宇短附は安定感のあるポゼッションでボールを動かしながらゴールを目指す。GK雨宮①を含めた佐藤③を中心としたビルドアップから逆サイドへ展開する形で主導権を握る。対する佐日は最終ラインを下げすぎず前線からボールを奪いに行く姿勢を見せ宇短附のミスを誘う守備を展開する。5分宇短附、谷⑤のタイミングの良い仕掛けで得たFKを長谷川⑧が直接決めて先制する。一方、佐日は奪ったボールを簡単に失う場面は目立つものの、積極的な守備で本島⑱が相手の隙を突き左サイドで決定的なチャンスを作るなどお互いの持ち味が出た前半となった。

雨が強くなってきた後半、佐日は小松⑦と溝口㉒を投入し、攻撃の活性化を図る。対する宇短附は前半と同様のメンバーとシステムで臨むが、ピッチコンディションの悪さと連戦の疲れから運動量が落ち始め、ボールを保持できない時間帯が続く。さらに活動量を重視する佐日は田中㉑を投入し、前線からの粘り強い守備から素早いショートカウンターで宇短附にペースを握らせない。

後半、両チームともに間延びした状態が続きゴール前にボールが入る機会が増える。追いつきたい佐日は、両サイドの仕掛けからチャンスを作る。宇短附も渡辺④の好クロスを森下②がヘディングで合わせ両サイドバックで決定機を作る等、鋭いサイド攻撃は健在。終盤は互いに激しい攻防を繰り広げるが、スコアは動かず1－0で宇短附が勝利を収めた。

敗れた佐日は、チーム戦術の徹底ぶりだけでなく、スキルフルな相手に対し自由にさせない個人戦術の高さも光った。一方、勝利した宇短附は高いスキルをベースにボールを保持しようと試みたが、試合を通してうまくいかない場面が多く見られた。攻撃の威力は県内トップクラスであり、今後も磨きをかけて自分たちのスタイルを貫いてもらいたい。両チームの関東大会での健闘を祈る。

記載責任者 所属(矢板高等学校) 氏名(髙井 剛)